

平成28年度「地域発元気づくり支援金」事業実施結果（北信地域）

	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	確定事業費（単位：円）		講評
						総事業費	うち支援金確定額	
1	地域協働の推進	ハード	中野市	手づくり農村支援事業	農業基盤整備の推進を図り農村の自立を促す契機とすることを目的に、地域住民が発意し、施設管理者、農家、地域住民が協働して行う農道・水路の補修・整備の直接施工や維持管理活動を支援。 ②原材料の支給等 農道舗装8地区、水路改修8地区	8,909,928	4,431,000	直接施工により少ない経費で農業施設が整備され、農作業の労力の軽減が図られるとともに、地域住民による愛着心を持った管理活動が可能になった。
2	地域協働の推進	ハード	飯山市	協働のむらづくり事業	住民と市が協働して農林業用施設(農道・林道・水路)を整備することにより、施設の維持管理作業を軽減し、農林業生産の効率を高めた。また、協働作業を通じて住民同士の交流、施設管理意識の向上を図った。 ②原材料購入費 農林道舗装12箇所、水路改修15箇所	6,795,391	4,009,000	直接施工により少ない経費で農業施設が整備された。また、施設の老朽化等に起因する耕作放棄を未然に防止することができた。
3	地域協働の推進	ハード	山ノ内町	地域協働で農業に活力を与えるための施設整備	地域住民が自立的に実施する農道舗装に原材料支給等で支援することにより通行の安全確保、果実運搬時の荷痛み減少を図り、高齢化や後継者不足に悩む農業への生産意欲の向上と安定した農業経営につなげる。また、協働作業を通じて住民同士の交流、農道管理意識の向上を図る。 ②農道舗装5地区 原材料費、重機借上料	4,170,000	2,085,000	地域住民が自ら農道舗装を行ったことにより実情に即した整備が図られ、農業の生産意欲の向上に繋がるとともに、地域の連帯感が増し自立意識の向上が図られた。
4	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木島平村	木島平村後継者対策事業 木島平村をまるごと体験～婚活交流会～	木島平村は昭和40年以降一貫して人口は減少傾向にあり、平成27年10月にまとめた人口ビジョンによると、30年後には34.9%の人口減少が推計され、産業の衰退や地域の活力低下を招く懸念があることから、行政と民間が協働して実行委員会を組織し、多様なニーズに応じた婚活イベントを企画、実施した。 ①イベント会社委託費、チラシ等広報、体験等施設使用料	604,348	453,000	村婚活実行委員会が組織され、村内飲食店やスキー場と連携し事業が実施された。
5	教育、文化の振興	ソフト	木島平村	旧跡・名跡かるた作成事業	木島平村には往郷地区の旧跡等を紹介した「往郷かるた」があるが村全域に史跡・名跡があることから、小中学生、村民が参加し新たな史跡を発掘しつつ村全体版かるたを作成した。 ①かるた作成	550,800	413,000	村内に多く存在する旧跡・名称を題材にすることにより、製作過程において郷土愛の醸造が図られた。
6	地域協働の推進	ハード	野沢温泉村	手づくり農道舗装等事業	農業従事者が高齢化する中、農山村景観の保全と農用地の荒廃地化防止を図るため、農作業の労力を軽減と生産意欲の向上、農用地の流動化を目指し住民が協力して自らが行う農道舗装等に対し、村が原材料を支給した。 ②農道舗装2箇所 原材料	2,611,440	1,740,000	農林道の整備により作業時の安全性と利便性が確保できた。また、地域住民が自ら整備をすることで自立意識の醸成が図られた。

	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	確定事業費 (単位:円)		講評
						総事業費	うち支援金確定額	
7	地域協働の推進	ハード	栄村	農地等国土保全事業	農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び用排水路等について、村が原材料等を支給した。 ②原材料支給:農道舗装等4箇所、水路等改修9箇所	3,707,337	1,668,000	農道及び水路等を整備することにより山間地の水田の持つ多面的機能が維持、発揮され、生産性も向上している。
8	教育、文化の振興	ソフト	高井地方史研究会 (中野市)	中野天領の歴史を探る	高井地方の歴史を研究し、年4回の会誌「高井」を発行してきたが、会創立50年を節目として「中野天領シンポジウム」を開催するほか、「幕領中野陣屋」に関する記録集を発行し、地域住民の郷土史への関心を高め、陣屋を中心とした地域づくりを目指す。 ①シンポジウム開催、記録集印刷	1,332,807	957,000	予定を上回るシンポジウム参加者があり、天領について地域の興味・関心を高めることができた。
9	保健、医療、福祉の充実	ソフト	おはなし♡びっくりばこ(おとこぐみ) (中野市)	「お父さんの読み聞かせ」おはなし会のミニマラソン	父親の子育て参加の具体的な取り組みの一つとして「お父さんによる読み聞かせ」を推進している。28年度は県内にいくつかある男性による読み聞かせ団体とのコラボレーションによる実践発表を行い、「お父さんによる読み聞かせ」活動をPRした。 ①発表会開催(読み聞かせ団体謝金ほか)、ポスター等印刷	563,211	450,000	長野県内における男性グループの読み聞かせ団体の周知が図られ、活動の幅が広がった。
10	商業の振興	ソフト	中野市商店会連合会 (中野市)	ドキドキ ハロウィン	普段商店街を利用しない若い世代に商店街を知ってもらうためのイベント(ハロウィン仮装パレード)を行い、商店街や個店に親しみを持つきっかけづくりとする。 ①会場、イベント経費、広告宣伝、警備費ほか	1,058,640	793,000	他のイベントと日程調整が重なり参加者数が目標を下回ったものの、高校生のボランティア参加や若い年齢層の企画段階からの参画により地域の活性化が図られた。
11	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト・ハード	結文舎ワークスラボ (中野市)	女性・若者の雇用促進及び就業支援、中野市の文化振興のためのシェアスペースの整備	中野市内の若手クリエイターの事業創出を図るため、空き店舗を自分たちの手で改修しコワーキングスペースと交流の場を創造した。 ②改修費、①備品整備	2,710,186	1,761,000	シェアスペースが整備されたことにより当初の目的の子育て世代だけではなく高校生や「若者会議」と繋がり幅広く活動している。周辺の商店街の活性化にも貢献している。
12	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	高社山を世界に発信する会 (中野市)	高社山を中心とした地域の賑わい創出事業	高社山エリア(中野市・木島平村・山ノ内町)で連携して高社山及び山麓地域の景観、文化など発信するため、信州・山の日等に合わせ登山イベントを実施した。 ①登山にかかるバス運行等、チラシ印刷、ホームページ作成等	594,509	412,000	「山の日」イベントでは見込みを上回る多くの参加者があり、高社山の知名度向上に一定の効果があった。

	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	確定事業費 (単位:円)		講評
						総事業費	うち支援金確定額	
13	教育、文化の振興	ソフト	特定非営利活動法人信州ふるさと郷育ネットワーク(中野市)	子どもの環境・郷土学習に関わる事業	郷土の自然環境や伝統文化等に親しみ理解を深めるための副教材として「ふるさとドリル」を作成し、中野市内の小学3年生に無償配布した。 ①ドリル印刷費等	702,644	489,000	中野市内の様々な機関からの協力を得て郷土学習の機会を提供した。一過性の取組みではなく継続して発行できる環境づくりに期待したい。
14	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	信州なかの観光協会(中野市)	天領信州なかの「み(味・観・実)どころ」まち歩き情報発信事業	観光協会のホームページをスマートフォン対応するための更新等を行ったほか、観光ボランティアガイドのスキルアップ研修を行い技術向上を図った。 ①Webサイト構築、先進地視察	1,732,251	1,268,000	HPの利便性は向上したが閲覧数の閲覧数は微増にとどまっている。中野市の魅力発信に努め活発なガイド活動につなげてほしい。
15	地域協働の推進	ソフト	(一社)長野県建築士会中高支部(中野市)	景観からのまちづくり協働事業	都市計画道路の建設計画にあたり、周辺地域住民と協働により歴史や文化を踏まえた景観形成を念頭としたまちづくりを研究するため、講演会及びまち歩きによるワークショップを開催した。 ①講演会開催(会場費ほか)	645,281	336,000	景観からのまちづくりという視点で多くの地域住民が参画したことによりまちの現状を把握し、改善に向けた議論の場が持てた。
16	教育、文化の振興	ソフト・ハード	信州なかのふるさと交流団(中野市)	第23回ふれあいわんぱく学校in中野	埼玉県坂戸市と中野市(旧・豊田村)の子ども達の交流事業を平成5年から毎年行っている。中野市に合併し一度は中断したが団を再結成し10周年となる記念イベントとして従来のキャンプのほか千曲川でのラフティングを体験するなど自然環境を学習し、両市の友好を深めた。 ①交流会バス代、ラフティング等、②テント購入	1,196,752	796,000	20年以上継続している取組みであり、参加した児童の自立心等を養うほか郷土への愛着形成に貢献している。
17	保健、医療、福祉の充実	ソフト	特定非営利活動法人北信ふくしMネット(中野市)	地域のふれあい拠点づくり事業	認知症高齢者や障がい者及び関係者、子育て中の親子など社会参加が少ない人々を対象に音楽を通じた交流を行い、様々な心の不安や負担を軽減する。 ①音楽団体への謝金、会場使用料、チラシ印刷等	476,290	334,000	北信すべての市町村において毎月交流会を開催したことにより、地域の高齢者や介護者の拠り所としての認知度が高まった。
18	農業の振興と農山村づくり	ソフト・ハード	中野市豊田特産振興会(中野市)	唱歌「故郷」のふるさとでおもてなし、農家民宿「なんだ屋」運営事業	豊田地区の空き屋を活用し農家民宿を開設したところだが、H28は就農希望者等を受け入れ、地域食材を活用した食(そば等)の提供も行い、農業に関連した移住、二地域居住を推進した。 ①旅館業手続き、調理器具購入等、②囲炉裏設置ほか	467,560	327,000	ボラバイターの受入れにより農作業の労働不足解消に貢献するとともに新規就農へのきっかけづくりの場を提供した。

主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	確定事業費 (単位:円)		講評
					総事業費	うち支援金確定額	
19	特色ある観光地づくり	ソフト	(一財)信州いいやま観光局	信越自然郷エリアにおける日本版DMO推進事業 信越9市町村広域観光連携会議が実施してきた事業を引き継ぎ、これまでの事業効果の把握を行うとともに、信州いいやま観光局が日本版DMO候補法人に申請したことから信越9市町村広域連携の中心となりマーケティング手法などを活用、効果的な販路拡大などを行い、飯山駅開業後の広域観光事業を推進する。 ①JRタイアップ広告費、旅行誌広告掲載、モンベル提携料等	14,381,534	7,797,000	計画した事業が年度内に完了しなかったが、あらゆる媒体によるPRが功を奏したのか飯山駅の乗降客数は伸びている。信越自然郷全体の地域DMOとして更なる情報発信に期待したい。
20	特色ある観光地づくり	ソフト	信越自然郷・五高原ロングライド実行委員会(飯山市)	信越自然郷・五高原ロングライド2016 「信越自然郷」を巡るサイクリングイベントを開催。H28は特に外国からの受入を強化するため台湾に焦点を絞り現地と連携したツアーを企画し、ホームページ等の多言語化を図った。 ①ホームページ改修、Web広告等、パンフレット等印刷、看板設置等	3,325,031	1,126,000	第7回を迎え、コース沿線の地域住民によるおもてなしが好評のイベントとして定着し、宿泊者も伸びている。インバウンド対策をより充実させることを期待。
21	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	斑尾高原観光協会(飯山市)	誰でも楽しめるトレイルに！斑尾高原トレッキングトレイルユニバーサル化事業 北陸新幹線飯山駅開業を機に増加している外国人をはじめ、年齢やハンディの有無に関わらず誰もが楽しめるトレッキングトレイルとするため、道標やマップに英語表記を加えるほか、トレイルの一部改修を行った。 ①道標等整備、ホームページリニューアル、トレイルマップのリニューアル、②トレイルの一部改修	2,074,560	1,536,000	道標やマップの英語表記のほか、足腰の弱い方や小さな子供も楽しめるよう遊歩道を整備するなどユニバーサル化を推進した。今後は飯山駅を活用したツアーなど新たなアクティビティプログラムの推進に期待したい。
22	保健、医療、福祉の充実	ソフト	飯山赤十字病院(飯山市)	医師等確保対策事業 飯山赤十字病院は常勤の産科医が確保できなくなることから28年度4月から分べんの取扱いを休止することとなったが、他にも小児科、内科等医師不足が続いている。北陸新幹線飯山駅開業に合わせ新幹線車内広告により医師の募集を図ってきたが、H28は飯山市と連携し、移住先としての飯山市の魅力でPRしつつ医師を募集し、二地域居住など新しい暮らし方を提案する。 ①北陸新幹線車内広告	5,257,440	2,673,000	新幹線車内広告により非常勤医師1名、看護師1名の確保につながったことは一定の効果があったと言える。
23	保健、医療、福祉の充実	ハード	(株)フジすまいるファーム飯山(飯山市)	障がい者総合支援法に基づく就労継続支援A型事業 食料品等のチェーンストアを全国展開する(株)フジ(本社:愛媛県松山市)が長野県と飯山市が進める「農・福連携事業」の趣旨に賛同し、「株式会社フジすまいるファーム飯山」を設立し、障がい者を継続的に雇用する「就労継続支援A型事業所」(北信地域では初)を立上げた。遊休農地を開墾し伝統野菜の坂井芋等を栽培、廃校となった岡山小学校の給食室等をそのまま活用し加工施設とし、農産物の加工・販売を行うことにより、農業の振興を図るとともに障がい者の自立を支援した。 ②送迎用バス、軽トラック、農地開墾・整備費	8,408,600	5,204,000	県と市、事業者が連携し、北信地域初の障がい者就労継続支援A型事業所の設立につながった。障がい者の職域と雇用を拡大することにより経済的・精神的な自立が促進されるとともに、地域の農業者の支援を得て遊休荒廃農地の活用も図られ、基幹産業である農業の振興が図られた。

	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	確定事業費 (単位:円)		講評
						総事業費	うち支援金確定額	
24	教育、文化の振興	ソフト	飯山市文化交流館 なちゅら開館記念 市民第九コンサート 実行委員会(飯山市)	飯山市文化交流館なちゅら開館記念市民第九コンサート事業	飯山市内の中学校・高校には音楽分野の部活動がないため今後の文化芸術活動の衰退が懸念されているところだが、飯山文化交流館の開館を機に、飯山近隣の住民を集め第九コンサートを開催することを目標に掲げ、若者も参加しやすい合唱練習を行い、文化芸術の振興を図った。 ①オーケストラ委託費、合唱指導者等謝金・旅費、会場使用料、広告宣伝費	4,483,719	367,000	飯山市文化交流館なちゅらの開館を記念した、市民による初の第九コンサートの開催にあたり、近隣市町村も含めた幅広い文化交流が図られた。
25	特色ある観光地づくり	ソフト	(一財)信州いいやま観光局	信越自然郷アクティビティによるインバウンド誘客推進事業	飯山駅開業にあわせ開業した「信越自然郷アクティビティセンター」において、外国人旅行者の増加に対応できる通訳等が不足しているため、各種ツアーやプログラムについて英語により情報発信することにより魅力ある観光地づくりを図り、更なる誘客につなげていく。 ①英語版Web構築、自転車モニターツアー・広告宣伝費、自転車マップ印刷製作費	2,841,940	2,228,000	インバウンド向け情報発信が図られ、飯山駅観光交流センターへの外国人来客数が伸びている。
26	特色ある観光地づくり	ソフト	北竜湖観光協会 (飯山市)	クラフトフェアin北竜湖開催事業	北陸新幹線飯山駅が開業し北竜湖へのアクセス道路が新設されたことに伴い北竜湖の認知度を高めるため、北竜湖畔にある学校法人文化学園の宿泊研修施設を会場とした、地元作家による第1回クラフト展を開催した。 ①ポスター、チラシ等、Web開発費、施設使用料	803,908	537,000	地元を中心としたクラフト作家が出展し、多くの来館者があり地域の活性化が図られた。
27	教育、文化の振興	ソフト	おもしろ夢倶楽部 (山ノ内町)	ふるさとの歴史・文化遺産を未来に！伝承事業	山ノ内町内在住の101歳のおばあさんが地元で伝わる話を自ら聞き取り紙芝居を創作している。その内容はふるさとの歴史そのものであり、後世に伝えていく必要があることから、紙芝居絵本を作成するとともに紙芝居の上演、子ども人形劇などを行った。また、閉館した写真館に昔の写真が数多く残されていることから、町民からも古い写真を募集し合わせてデータ化し、町内の歴史として保存した。 ①絵本製作、写真データ化作業	742,142	556,000	民話紙芝居を絵本として形に残すことにより地域の歴史や災害の教訓を子供たちに伝えることができた。また、松田さんの活動そのものが地域に暮らすお年寄りの励みになり、健康長寿県のモデルケースとして高く評価できる。
28	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	志賀高原観光協会 (山ノ内町)	<継続・3年目> 第3期志賀高原ユネスコエコパーク蓮池外来種駆除事業	外来植物に覆いつくされた蓮池を、H26は専門業者による深部駆除、H27は深部草刈機を自前で製作し、地元住民、観光事業者、小学生と共に一斉駆除作業を行い一定の成果を得た。H28は深部草刈機の改良を図り、志賀高原内外の池にも対応できるよう駆除作業を進め、広く住民参加の活動として地域に根付いた取組みとなった。 ①船外機改良等、廃棄物撤去費用、②駆除物搬出用ボート	762,727	490,000	創意工夫により独自の水草刈り器具を製作、効果的な外来種駆除が継続的に実施されており、各地域の環境保全活動に波及している。また地元小学校と連携し、ユネスコスクールにおけるESD事業として意義のある学習活動として位置づけられている。

	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	確定事業費 (単位:円)		講評
						総事業費	うち支援金確定額	
29	安全・安心な地域づくり	ソフト・ハード	すがかわ暮らし応援隊(山ノ内町)	須賀川地区における高齢者世帯の除雪・排雪作業支援事業	地区の3割近くを占める高齢・独居世帯にとって冬期間の除雪・排雪は大変困難であることから、村外から移住してきた若者も加えて編成した「すがかわ暮らし応援隊」が支援することにより高齢者の社会的孤立を防ぎ、暮らしやすい地域づくりにつながった。 ②小型除雪機、中型除雪機、①車載用アルミブリッジ	1,005,955	671,000	高齢・独居世帯の除雪作業を行うことにより孤立感を解消し、安心して暮らせる地域づくりにつながっている。
30	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	志賀高原から始まる市川海老蔵いのちを守る森づくり＝ABMORI実行委員会(山ノ内町)	「後世に残そう森・水・いのち」志賀高原森林再生事業	県と山ノ内町が中心となり、志賀高原の閉鎖スキー場の森林再生を目的とした植樹活動「いのちを守る森づくり」に着手。H27は小学校の授業の一環として、志賀高原から拾ってきたどんぐりから苗木を育て植樹した。H28は日本生態学会での研究発表を目標とした10年に及ぶモニタリング調査を高校生を対象に行うなど、志賀高原ユネスコエコパークの学習プログラムの更なる充実を図った。 ①育苗～植樹事業バス費用、モニタリング・バス費用、仮設トイレ設置、②植樹事業・整地	8,940,192	3,926,000	苗の育成、モニタリングなど地元小学生から高校生まで関わる環境学習の場として定着している。中でも高校生による植樹リーダー及びモニタリングは参加者が増えており、環境学習への意欲の高まりが見受けられる。
31	特色ある観光地づくり	ソフト	スノーリゾート受入観光地協議会(山ノ内町)	スノーリゾート宣伝観光展事業	北陸新幹線飯山駅開業に伴い関西方面からのスキー観光客が見込めることから、スキー場を有する沿線市町村や観光団体による協議会を新たに設置した。国内の観光客誘致宣伝活動を強化するため、東京駅においてシーズン始めに協議会構成団体による合同のスキー場宣伝観光展を行った。 ①テント等借り上げ、音響設備等	718,600	318,000	これまでなかったJR西日本との連携が図られ、関西圏からの誘客、事業拡大に期待が持てる。
32	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	特定非営利活動法人地域創生研究所あつまれむらびと(木島平村)	あつまれむらびとプロジェクト	地域の課題解決に向けた自主的な研究会が立ち上がり、商工会や観光関係、農業など多様な人材が参加し「あつまれむらびと」として組織された。地域の課題解決のための活動を実施し、定期的な情報発信していくためホームページを開設した。 ①ホームページ作成費等、会場使用料	525,000	393,000	地域が抱える課題を解決するためワークショップを重ね、村の様々な資源を発掘、発信することにより地域の活性化が図られている。今後、更なる地域力の向上に期待が持てる。
33	森林づくりと林業の振興	ソフト	特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所(伊那市)	296年後の世界遺産登録をめざす、木島平村カヤの平高原におけるブナの森づくり	カヤの平高原牧場は夏の間の牛の放牧地として栄えてきたが、現在では牧畜農家の減少により、未利用部分が増加している。そこで未利用の牧場を昔のブナ林に復元することを目的として、ブナ林の林縁部から苗木を掘り取り未利用牧草地へ移植するという従来の植樹スタイルではない移植方法により、都市住民を中心に参加者を募り地域住民との協働により森林の再生を図った。 ①バス借料等、森林指導講師等謝金、募集チラシ印刷費、リヤカー購入	1,812,720	827,000	地元高校生を含めた地域住民と都市部からの参加者が交流しつつ、着実にブナ森林の再生が進められている。

	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	確定事業費(単位:円)		講評
						総事業費	うち支援金確定額	
34	保健、医療、福祉の充実	ソフト・ハード	特定非営利活動法人ぱーむぼいす(木島平村)	社会的自立に困難さを持った子ども・若者の自立をはぐくむ教育相談室開設プロジェクト	不登校や高校中退等、学校生活や社会生活に困難を有する子ども・若者への学習支援や就労支援を行っているが、精神疾患等を抱える利用者が増加しつつある。利用数の増加に伴い飯山教室ではそうした利用者が静かに過ごす空間が必要となったことから、補修が必要なため使用していなかった部屋を実習活動として若者たちが改修し、教育相談室として整備する。 ①技術指導料等、②解体処分費、材料費等	750,060	533,000	自分たちが必要とするスペースを自分たちの手で整備したことにより、子どもたちの自己肯定感や協調する力が養われた。
35	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	糠千清流の郷委員会(木島平村)	区民と学生の交流拠点整備事業	木島平村糠千地区は34世帯・100人弱の少子高齢化と過疎化が著しい集落であるが、H21から金沢大学の「まちづくりインターンシップ」の受け入れ先として地元住民と大学生が交流を重ね、地域課題の解決に取り組んでいる。H26からは県単独補助事業「集落'再熟'モデル地区支援事業」として助成を受け、地区内にある空き屋を学生と住民の協働により改修し、交流施設として整備したところであるが、H28は宿泊施設としての必要な手続きを行い、イベント時だけではなくいつでも滞在できる”学生の拠点”づくりを行った。 ①旅館業等申請手続、関連備品整備、②消防設備設置	491,201	342,000	交流する学生と住民の協働により拠点施設が整備され、更なる交流人口の増加に期待が持てる。
36	特色ある観光地づくり	ソフト	野沢温泉源泉かけ流しの会(野沢温泉村)	「源泉かけ流し全国温泉サミット」開催事業	日本源泉かけ流し協会に加盟している全国12箇所の温泉地の会員とマスコミ関係者を集め「源泉かけ流し全国温泉サミット」を開催した。温泉の効能等について科学的にアプローチする講演会を行い、観光資源としての温泉の新たな魅力をアピールした。 ①プログラム・チラシ等印刷費、講師謝金等、マスコミ宿泊費・交通費	2,406,955	747,000	「源泉かけ流し温泉」の重要性と特色ある資源としての認知度を高めることができた。
37	特色ある観光地づくり	ソフト	信越秋山郷会(栄村)	秘境秋山郷素朴な観光おもてなし事業	県境の津南町・栄村両地域の秋山郷住民が協働し、昔ながらの生活習慣や豊かな自然が残る秋山郷の魅力を旅行者が自ら「秘境」を体験できるためのおもてなしや新たな観光メニューの掘起しを行い観光の振興を目指した。H28フォトコンテスト入選作をシートパネルとして展示するほか、食のコンテストPR事業、秋山郷PRムービーの製作などを行い、これまで取り組んできた事業の成果が現れる形となるよう秋山郷の魅力を総合的に発信した。 ①写真シート経費、食のコンテストPR経費、プロモーションムービー製作	2,616,632	1,926,000	苗場山麓ジオパーク推進室(津南町)と連携したジオサイトのPRや津南町の夏祭りにおける食のコンテストなど、県境を越えて秋山郷の情報発信に努めている。